

郡山市セーフコミュニティ推進協議会

防犯対策委員会 活動報告

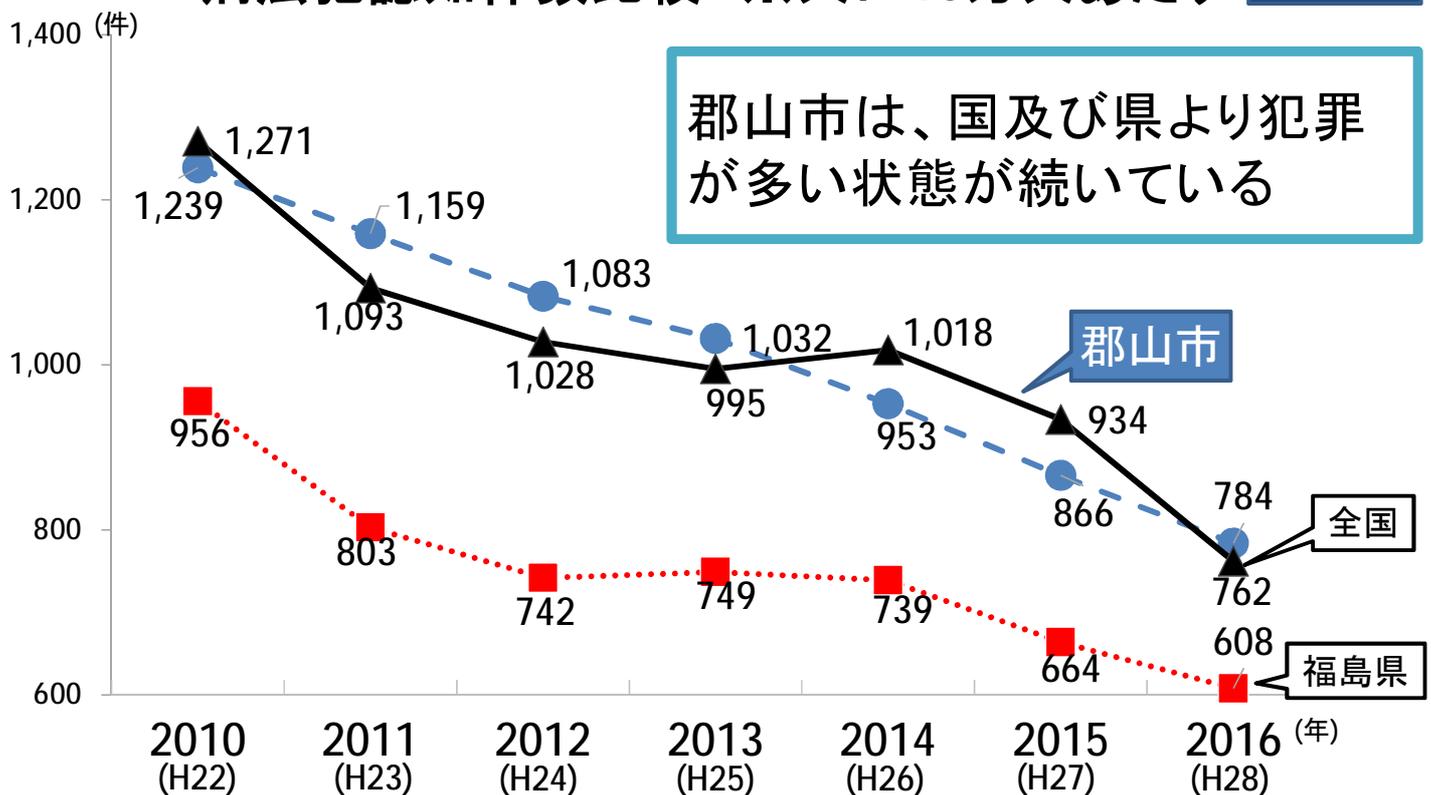


報告者 委員長 佐藤 晃正 (Akimasa Sato)

防犯対策委員会を設置した理由

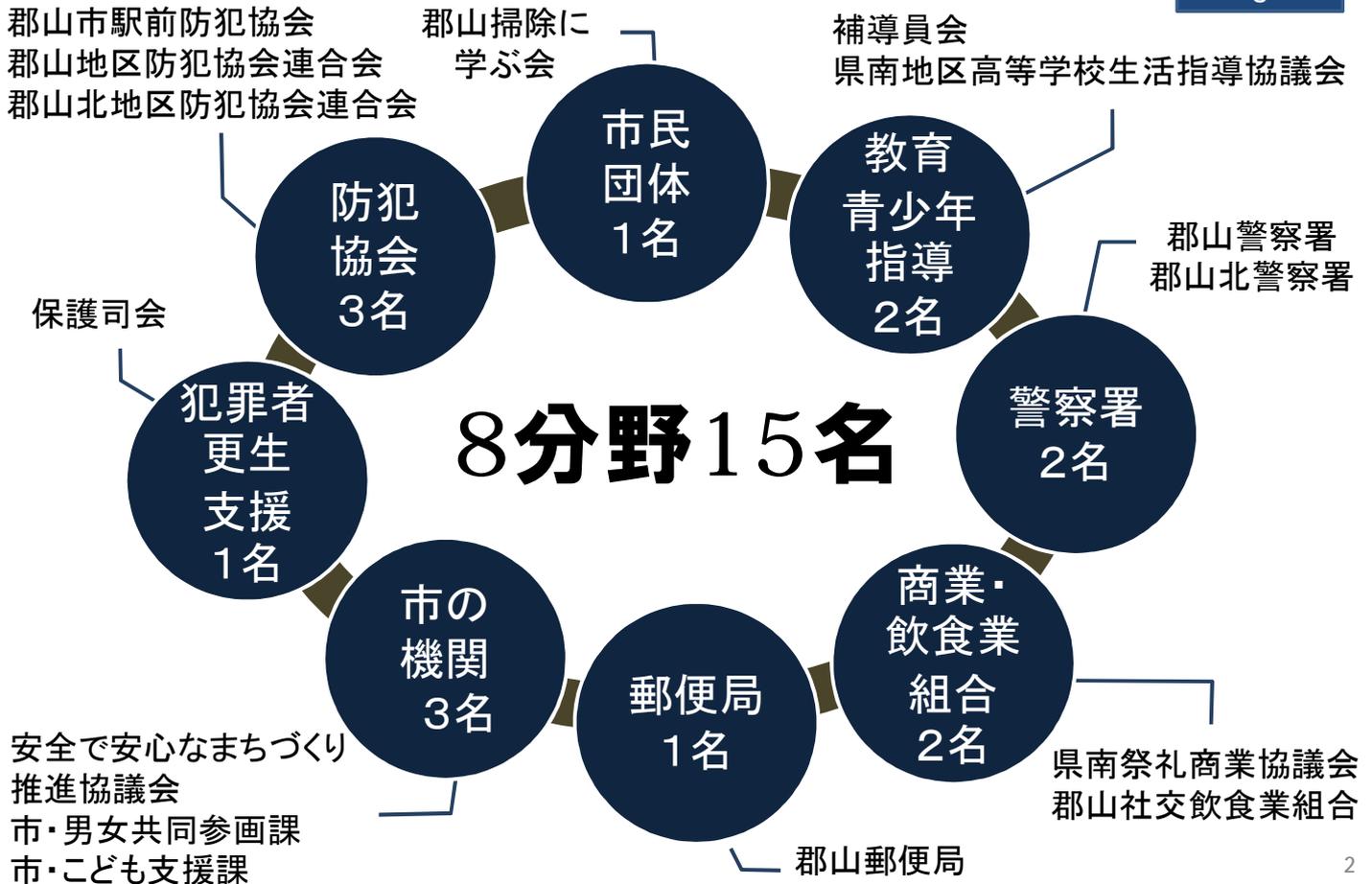
刑法犯認知件数比較 ※人口10万人あたり

fig1



防犯対策委員会の構成

fig2



2

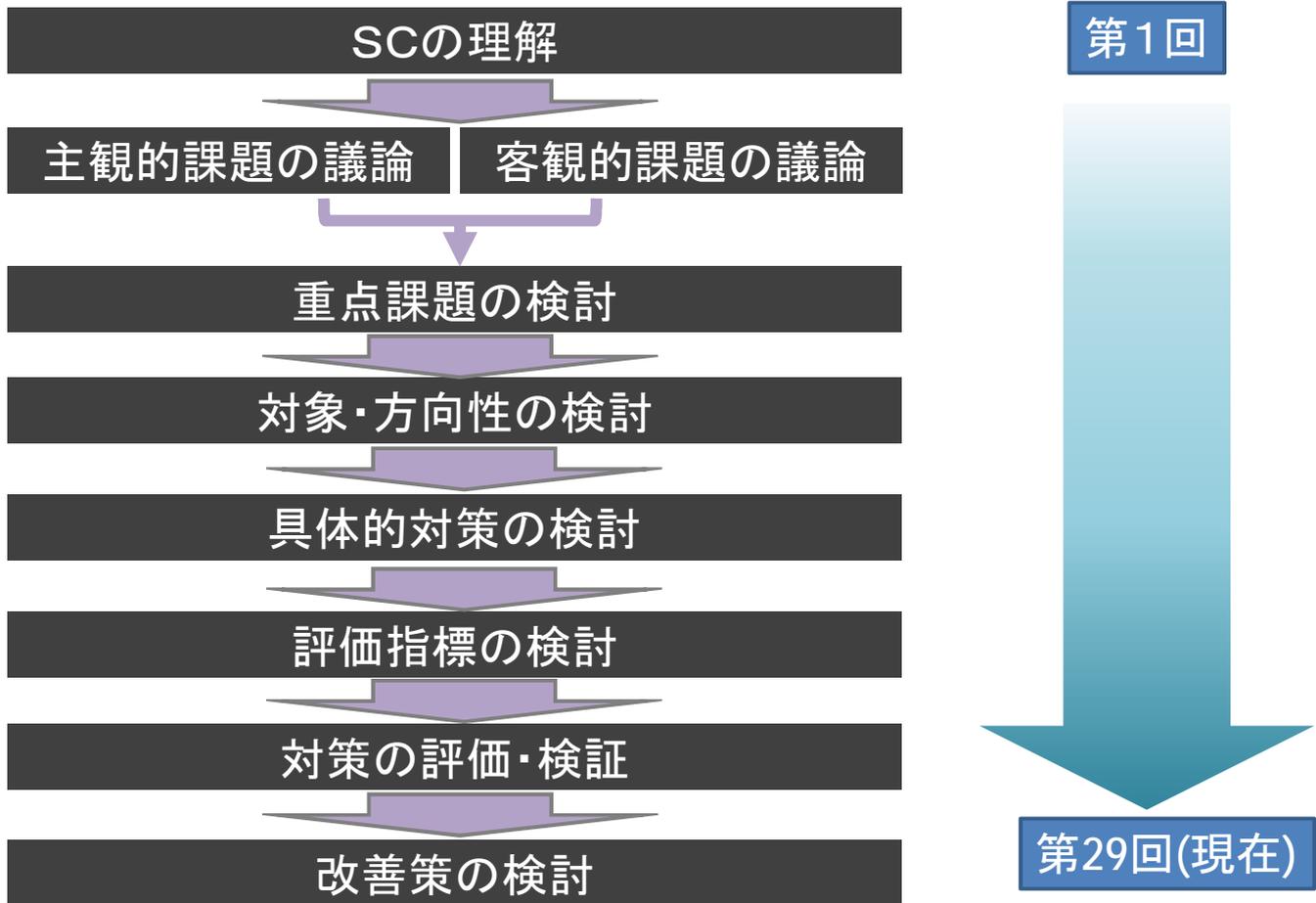
防犯対策委員会の構成

分野	団体・機関名	職名
青少年指導	◎ 補導員会	理事
防犯協会	○ 郡山市駅前防犯協会	防犯指導隊副隊長
犯罪者更生支援	保護司会	副会長
市の機関	安全で安心なまちづくり推進協議会	委員
防犯協会	郡山地区防犯協会連合会	麓山防犯指導隊長
	郡山北地区防犯協会連合会	パトロール隊長
教育	県南地区高等学校生活指導協議会	支部長
市民団体	郡山掃除に学ぶ会	世話人
商業・飲食業組合	県南祭礼商業協議会	副会長
	郡山社交飲食業組合	組合長
郵便局	郡山郵便局	総務部長
警察署	郡山警察署	生活安全係長
	郡山北警察署	第一係長
市	市・男女共同参画課	主査
	市・こども支援課	主任主査兼子育て支援係長

3

これまでの活動経過

fig3



4

主観的な課題について検討

第2回対策委員会以降は、ワークショップを開催



この時点で出された主観的な課題、問題など ~主なものを掲載

table1

近所の人について知らない	防犯カメラが少ない
防犯灯が少なく夜道が暗い	地域の防犯パトロールを増やすべき
郡山駅前の客引きが多い	震災後、空き家がふえた
子どもたちの過度なSNSに依存が心配	不審な電話が増えた、なりすまし詐欺か

5

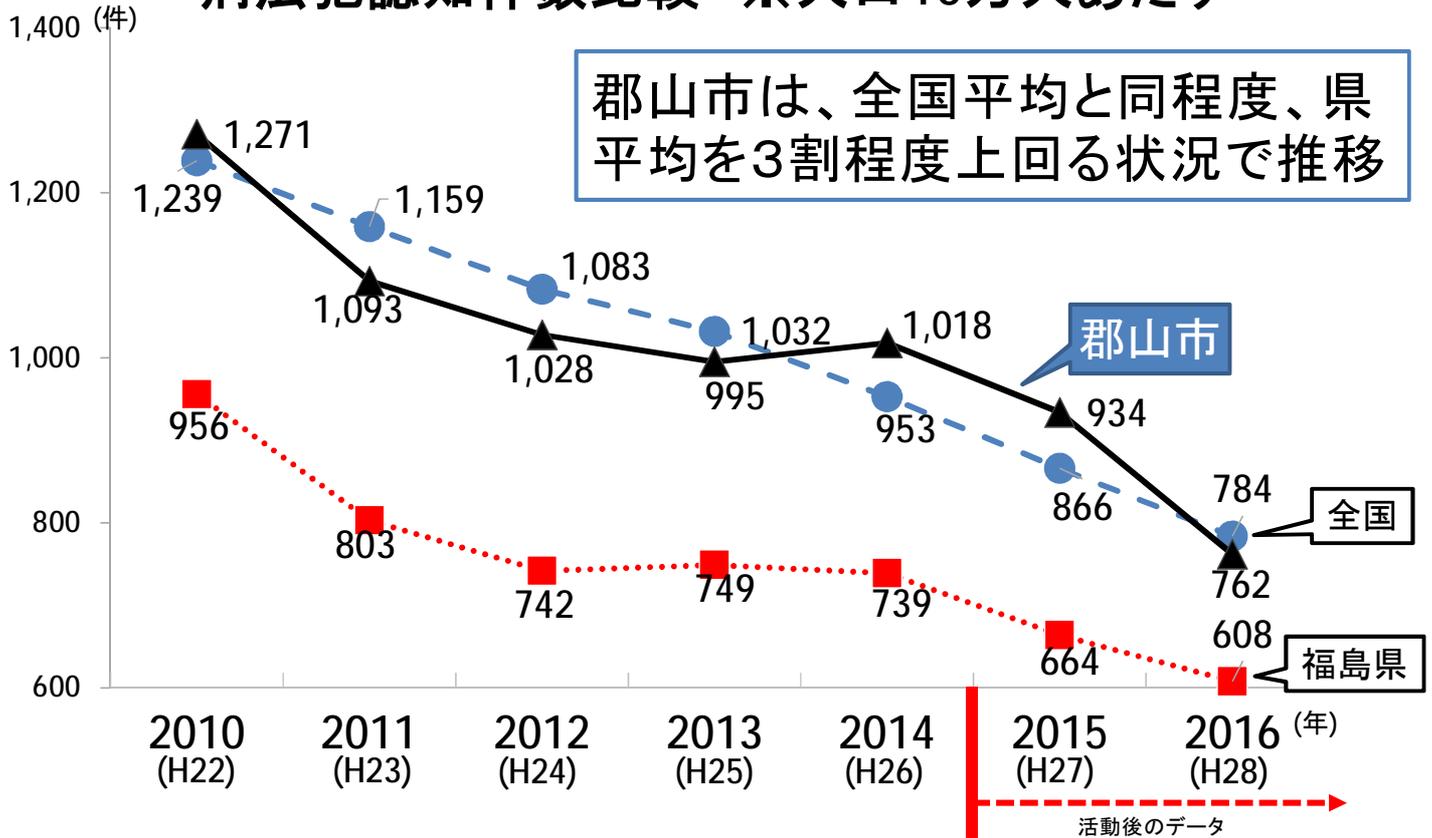
客観的な検討

fig2
(再掲)

郡山市の犯罪①

刑法犯認知件数比較 ※人口10万人あたり

郡山市は、全国平均と同程度、県平均を3割程度上回る状況で推移



出典: 警察庁、郡山警察署、郡山北警察署

6

郡山市の犯罪②

市内13地区の人口1万人あたりの刑法犯認知件数は、中心市街地を含む地区が高く、郡山駅を含む旧郡山地区が113件で第1位

table2

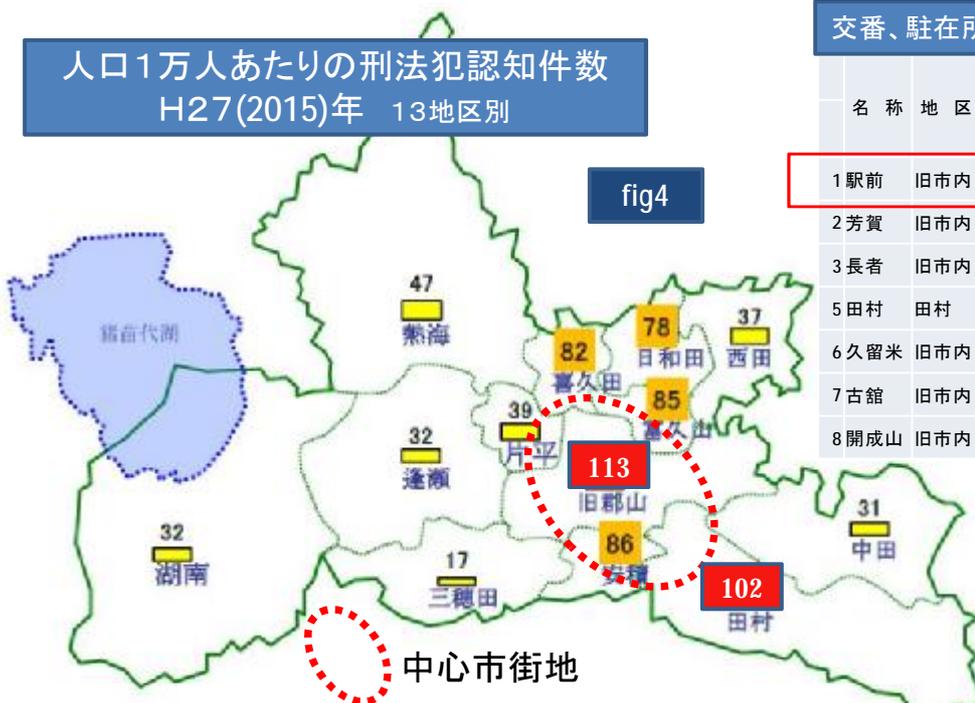
人口1万人あたりの刑法犯認知件数
H27(2015)年 13地区別

交番、駐在所別 (市内平均を超える上位8件)

名称	地区	種別	人口	面積 (km ²)	人口1万人 当り刑法犯 認知件数	刑法犯 認知件数
1 駅前	旧市内	交番	4,207人	0.9km ²	777件	327件
2 芳賀	旧市内	交番	16,029人	8.6km ²	171件	274件
3 長者	旧市内	交番	13,640人	2.5km ²	156件	213件
5 田村	田村	駐在所	14,873人	37.0km ²	120件	179件
6 久留米	旧市内	交番	22,589人	3.5km ²	116件	261件
7 古館	旧市内	交番	11,408人	2.2km ²	114件	130件
8 開成山	旧市内	交番	39,667人	7.0km ²	97件	385件

市内平均94件

fig4



交番、駐在所別の管轄区域別犯罪件数を使用しています。行政区と管轄区域には、若干の相違があるため、数値には、誤差を含みます。

出典: 郡山警察署、郡山北警察署、郡山市現住人口

7

郡山市の犯罪③

殆どが窃盗犯で約76%

粗暴犯は3%で福島県の半分

刑法犯認知件数の種類別比較2015(H27)年
総数:3,073件

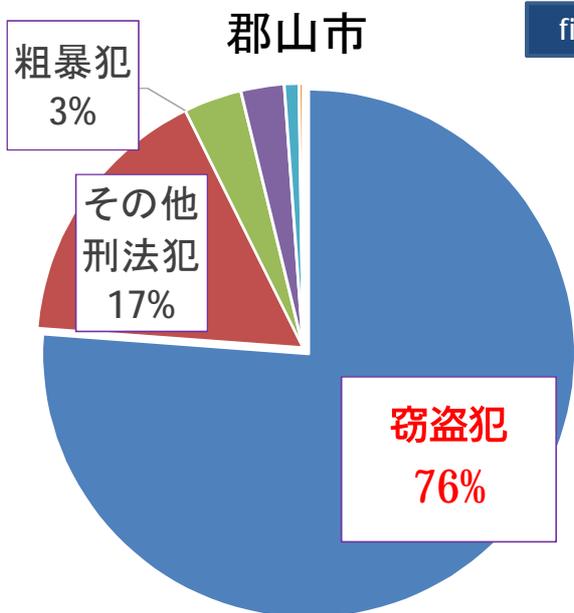


fig5

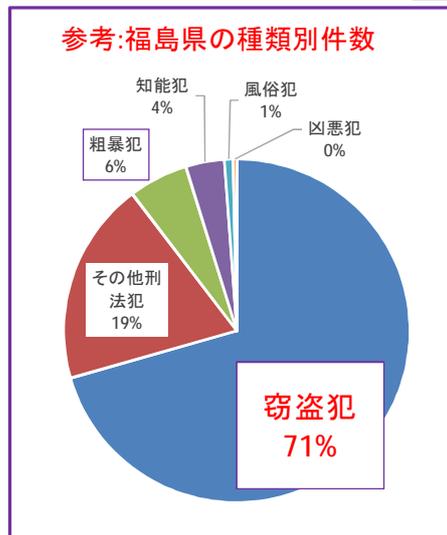


fig6

出典: 郡山警察署、郡山北警察署

郡山市の犯罪④

中心市街地を管轄する交番、駐在所の犯罪認知件数は、全体の9割

犯罪種別も変わりなく、窃盗犯が76%を占める

刑法犯認知件数の比較2015(H27)年
総数:3,073件

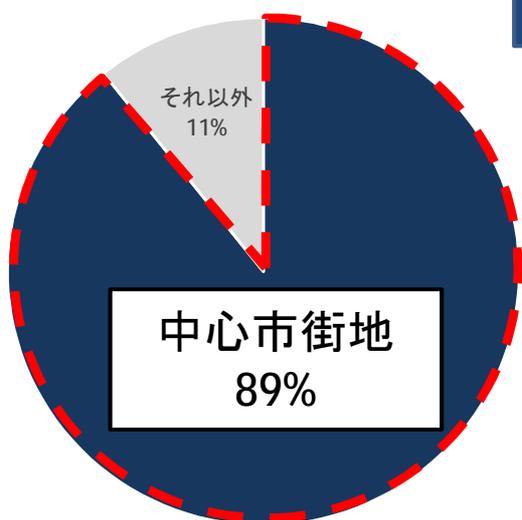


fig7

刑法犯種類別比較
総数:2,741件

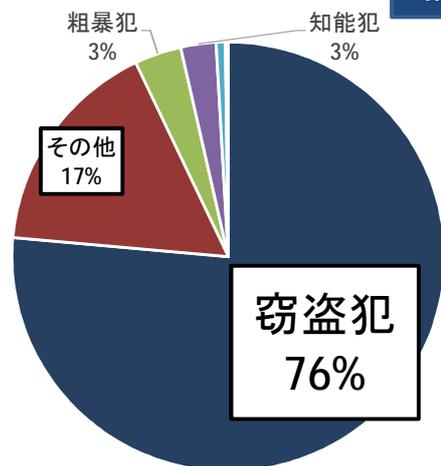
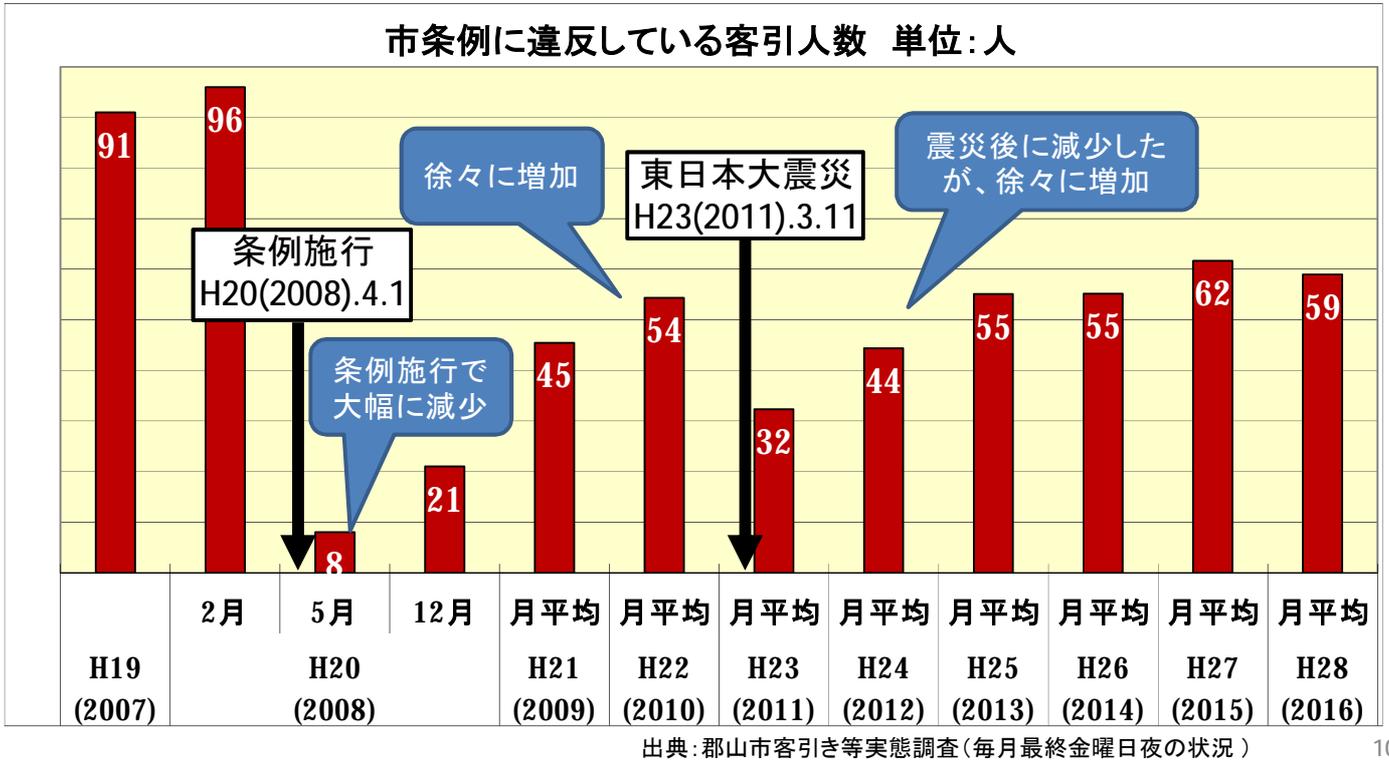


fig8

郡山市の犯罪⑤

郡山駅前では、刑法犯以外の犯罪も問題
市条例が禁止している違法な客引きが増加

fig9



参考1 違法客引きについて

客引きといってもただの呼子ではありません。

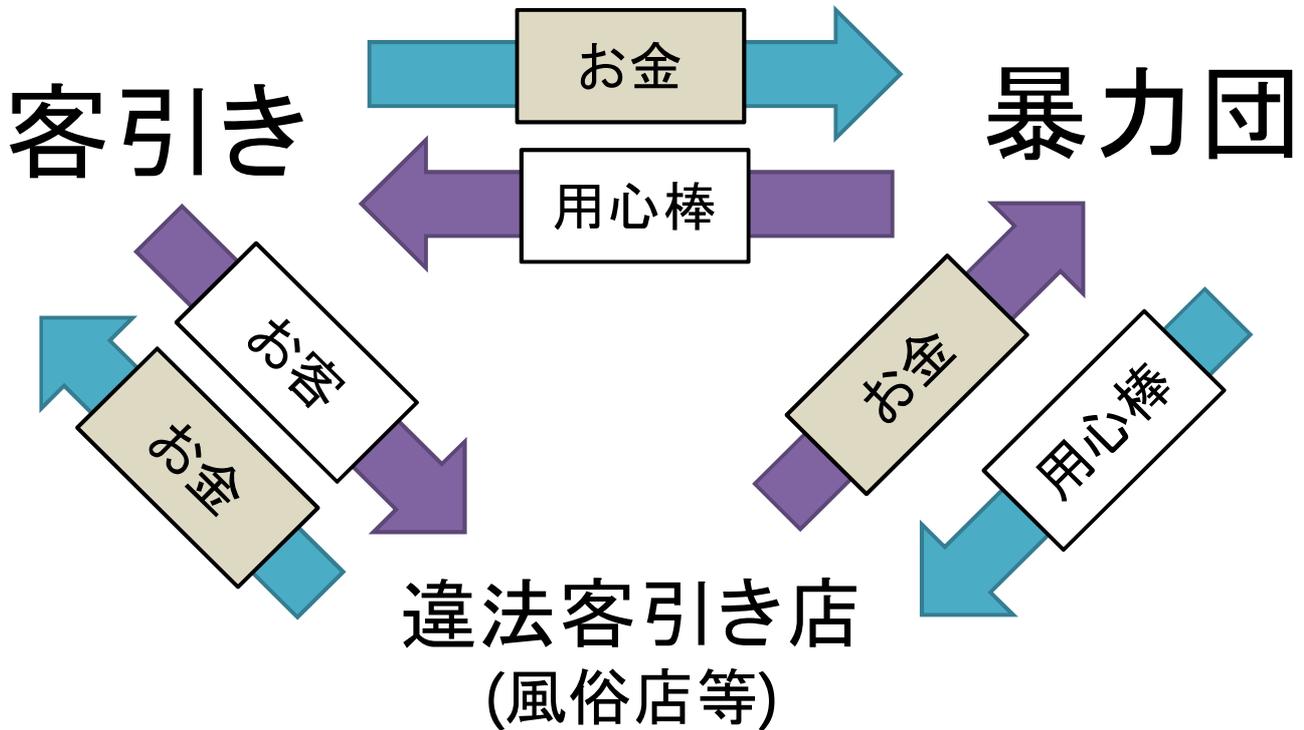
fig10



参考2 違法客引きについて

違法な客引きは暴力団の収入源です。

fig11



12

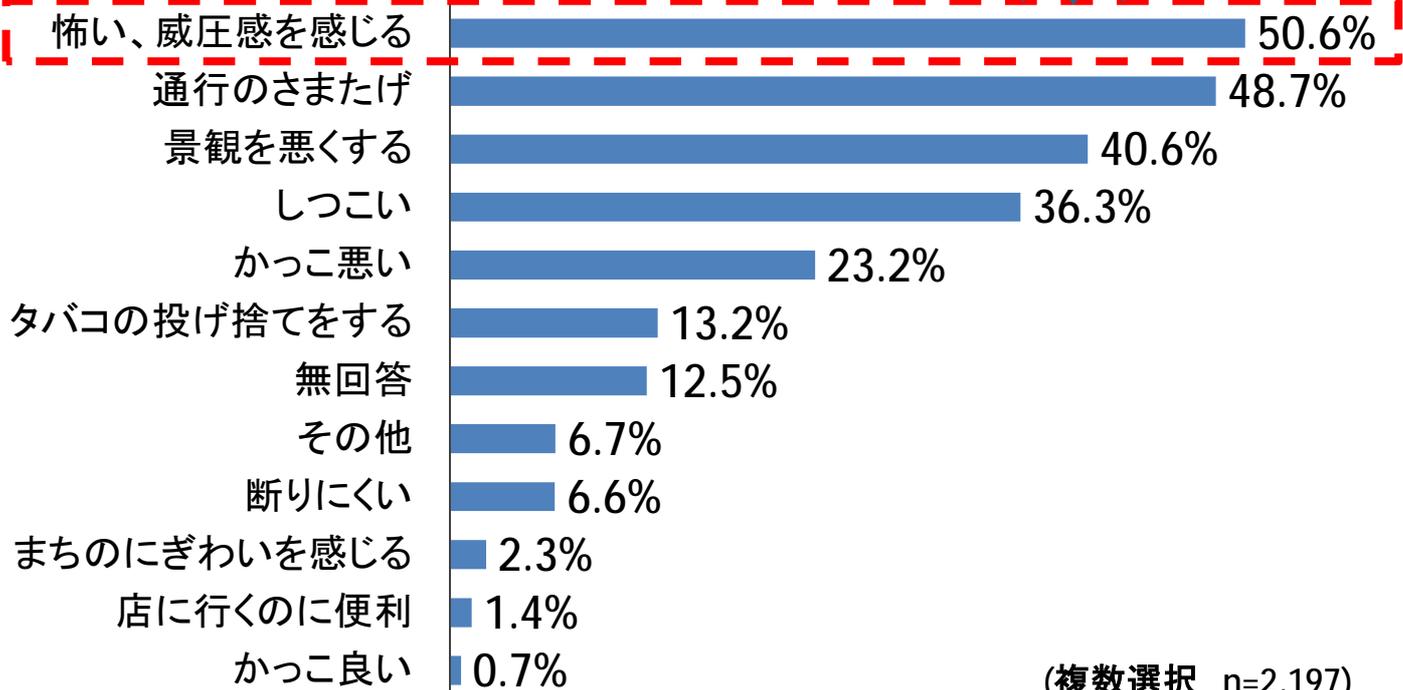
外傷サーベイランス委員会との連携で調査

違法客引きを市民はどう感じているのか？

「怖い、威圧感を感じる」が50%

精神的な被害

fig12



13

郡山市の犯罪⑥

窃盗犯や郡山駅前での違法客引きを放置することは、より危険で凶悪な犯罪が起こりやすい環境悪化につながる

fig13



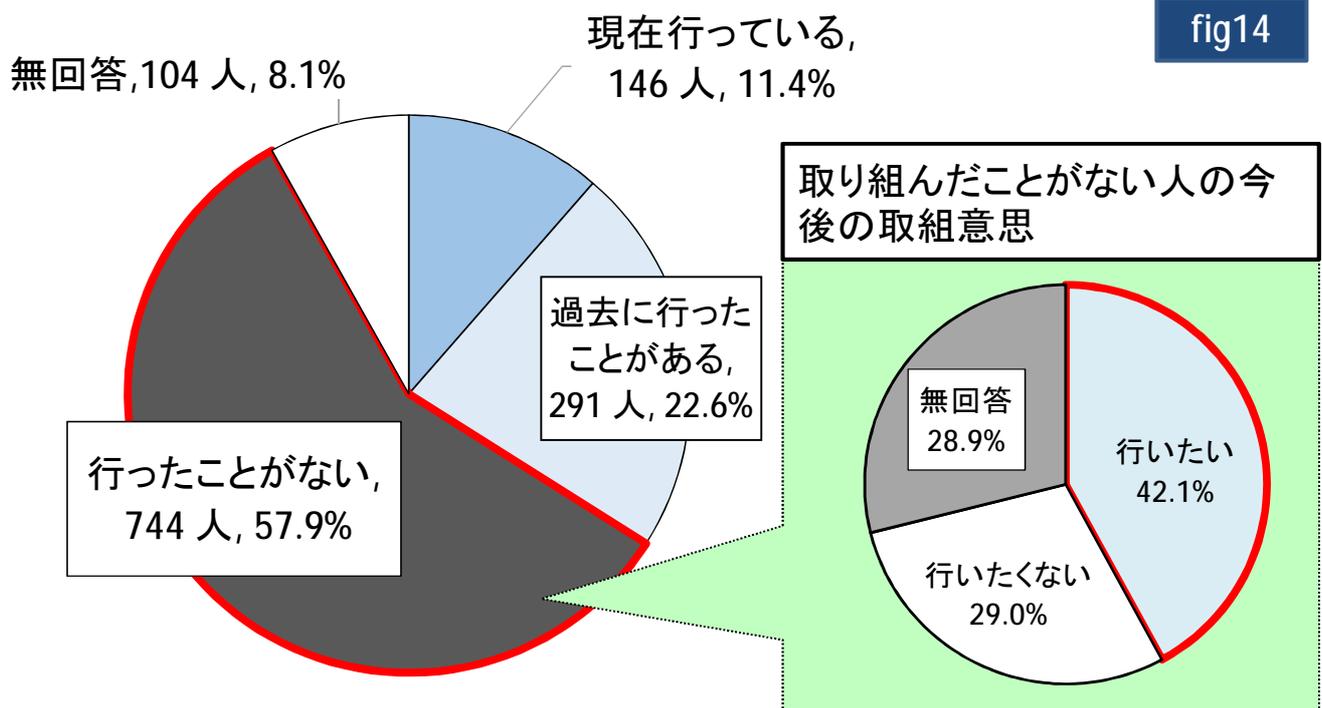
14

市民の防犯活動①

防犯活動に取り組んでいるのは、11%

また、未経験で今後取り組みたいと思う人は、42%

fig14



15

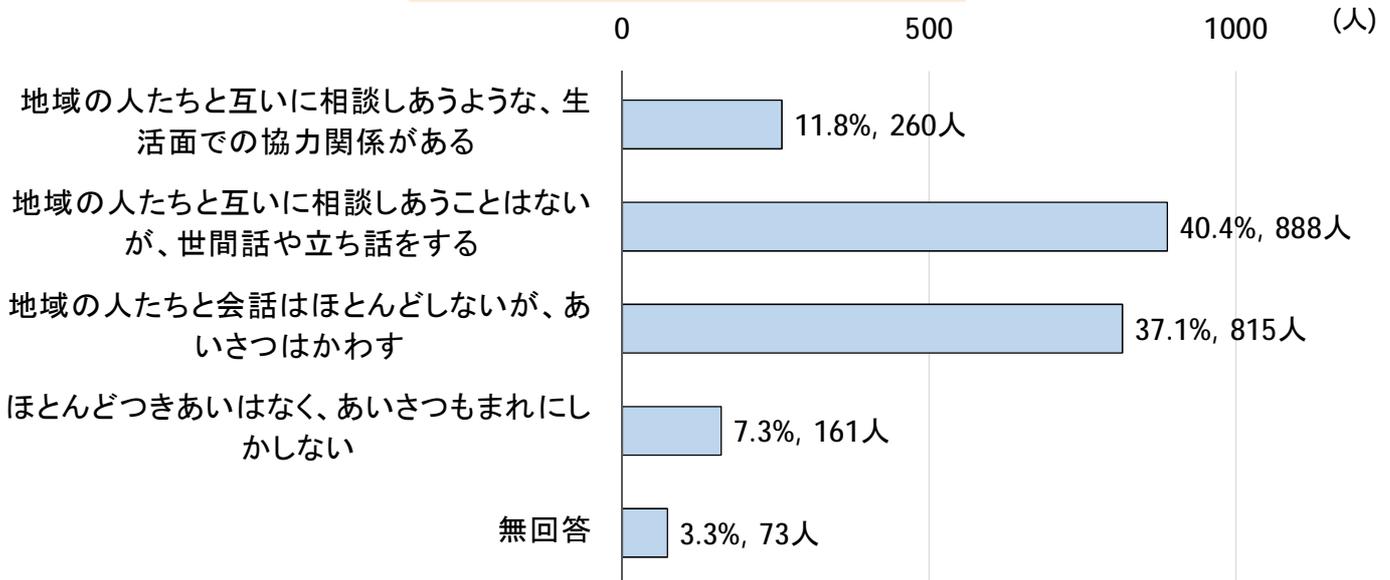
参考

市民相互のコミュニケーションの度合い(単一選択 n=1,285)

相談しあうような協力関係があるのは1割ほど
4割以上が会話はほとんどしないか、つきあいもない。
不審者の侵入に気づきにくい状態

fig15

地域におけるつきあい2016年

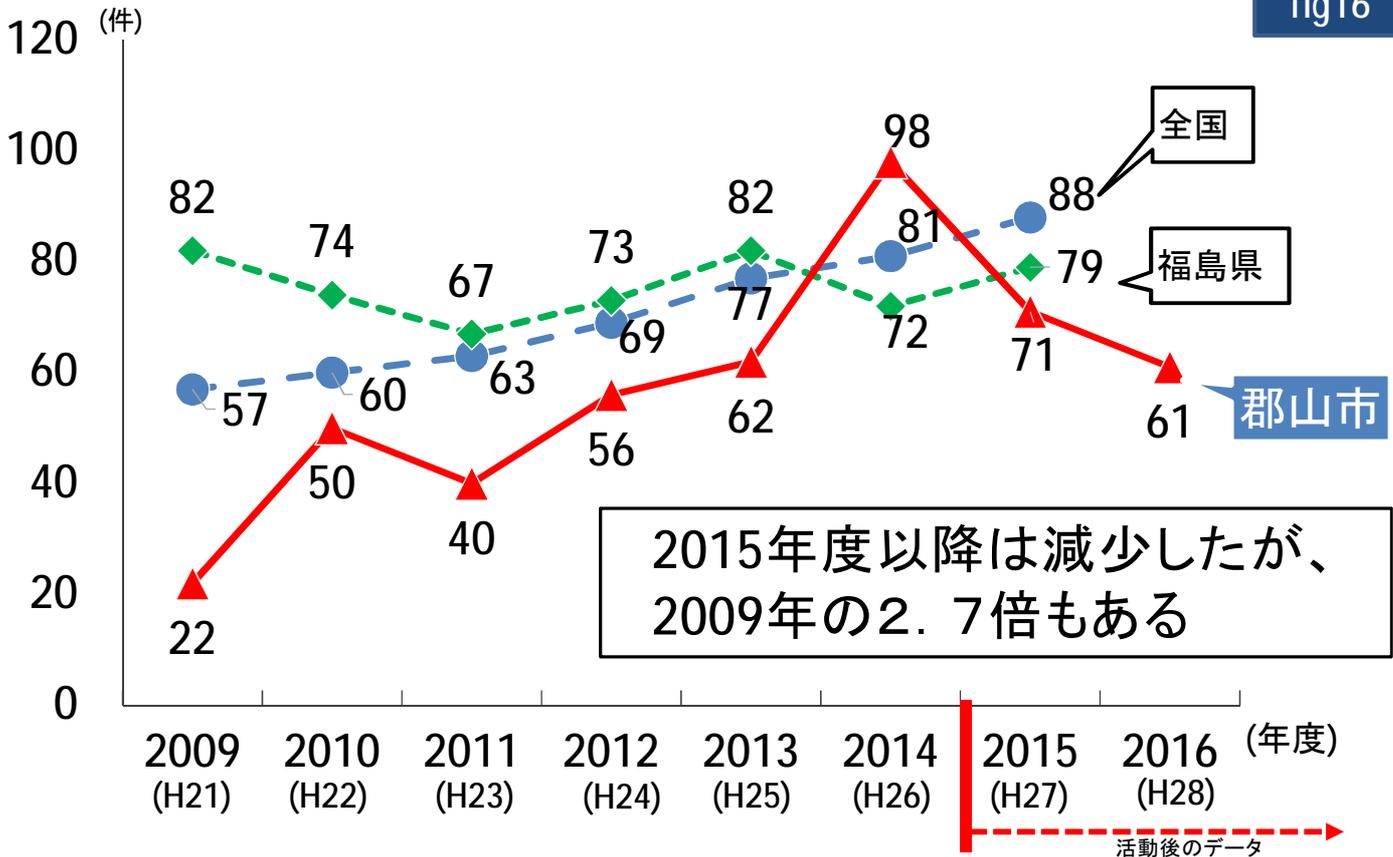


出典: 郡山市セーフコミュニティ「安全・安心なまちづくりについての意識調査(調査時期 2016(H28)年10月)

16

配偶者によるDVの相談件数の推移 10万人当たり件数で比較

fig16



内閣府男女共同参画局「平成21~27年度配偶者暴力相談支援センターにおける配偶者からの暴力が関係する相談件数などの結果について」
こども家庭相談センター「平成21~27年度相談等の取扱件数」より

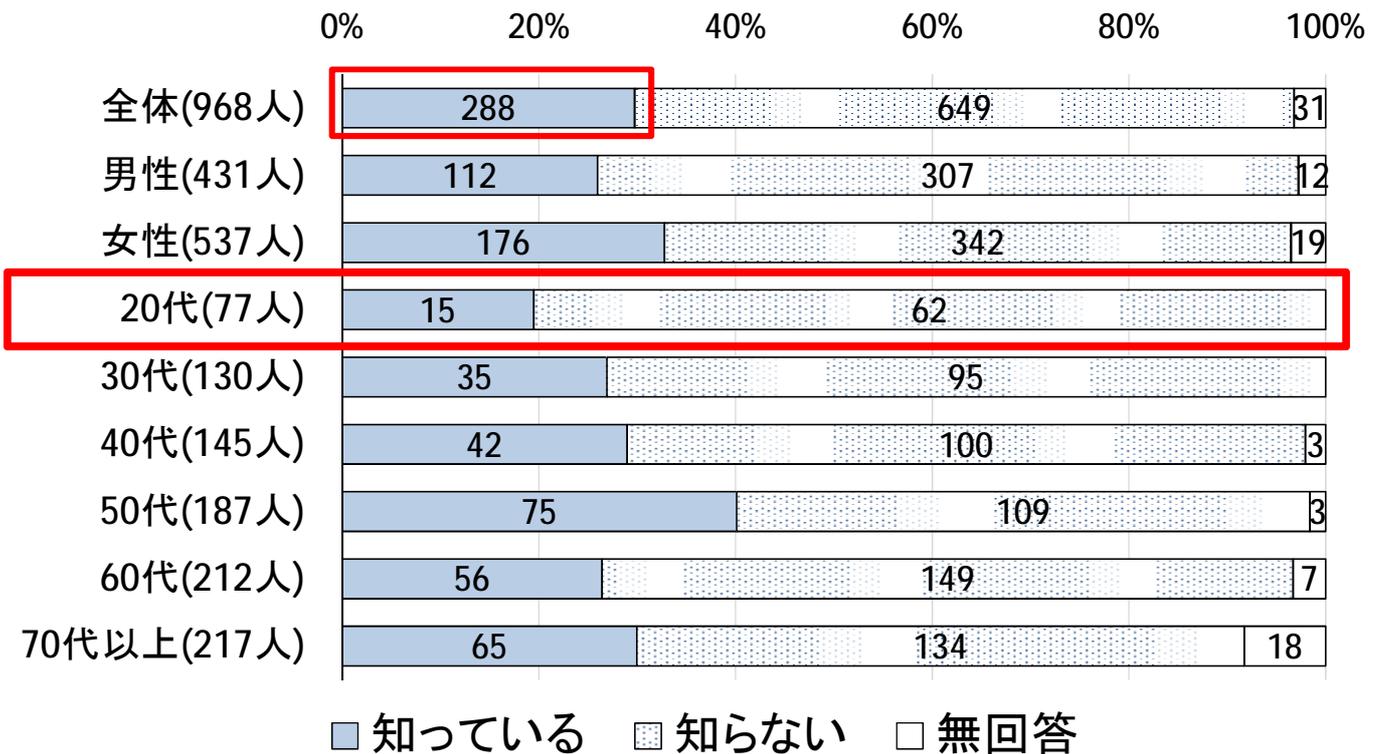
17

DV等の相談窓口の認知度

全体の認知度は、約30%

20代では約20%と低い認知度

fig17



出典：平成28年度男女共同参画に関する市民意識調査報告書

18

審査員による事前指導における助言

助言① 粗暴犯の件数は少ないが、けがに直結する犯罪

- ・警察で対応できている。
- ・市民では取り組みにくい。
- ・状況や原因に関するデータが入手できない。

助言② 防犯カメラの抑止力は、周知することで発揮される

- 商店街の防犯カメラの周知方法を確認した。
- 「見ている」ことをアピールする工夫を検討。
- 住宅街の犯罪の予防対策に反映。

助言③ 犯罪を起こしにくい環境を作る必要がある

- 住宅街の犯罪防止等で、地域住民の目を活かすことを検討。
- 住宅街の犯罪の予防対策に反映。

19

重点課題と解決の方向性①

fig18

fig 4,9,10,11,12,13 table 2

重点課題1

駅前の体感治安が悪い

方向性1
違法客引き行為
防止

fig 4,5,6,7,8,13,14,15 table 2

重点課題2

住宅街の犯罪が多い
(自転車盗、空き巣)

方向性2
環境の改善

方向性3
防犯力の向上

fig 16,17

重点課題3

DV等の相談窓口が知ら
れていない

方向性4
相談窓口の周知

20

重点対象、対策

fig19

課題
1

方向性1
違法客引き
行為防止

重点対象1
駅前の繁華街
風俗店
利用者

予防対策①
パトロール
啓発、取締り

課題
2

方向性2
環境の
改善

方向性3
防犯力の
向上

重点対象2
住宅街
交通事業者
市民

予防対策②
防犯カメラ
車載カメラ

予防対策③
地域の目を
アピール

課題
3

方向性4
相談窓口
の周知

重点対象3
市民

予防対策④
周知方法の
改善

21

現在の既存の取り組み

fig20

	国・県・警察	市	地域レベル
重点課題①: 駅前での体感治安が悪い	取締り	条例制定	事例1
	風俗営業店へ等の周知、警告	(防犯)パトロール	
		予防対策① (客引き防止)	
重点課題②: 住宅街の犯罪が多い (空き巣、自転車盗)	取締り	青色回転灯自動車パトロール	
	パトロール	市民パトロール 支援事業	市民パトロール
	事例2	防犯灯整備	自転車の ダブルロック
	防犯知識、意識の啓発		あいさつ運動
		防犯カメラ	
		予防対策②、③	
重点課題③: DV等の相談窓口が 知られていない	相談窓口の啓発		
		予防対策④	

22

現在の既存の取り組み

例① パトロール

地域住民、防犯協会、警察、市等が実施しています。
また、協働で定期的にパトロールを行っています。



パトカーによる巡回



行政、住民協働の巡回



防犯協会、市の青色回転灯パトロール



地域住民による見守り

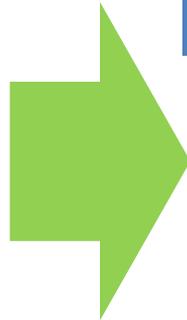
23

現在の既存の取り組み

例② 防犯灯整備

市内に約3万2千灯ある。現在LED化を進めている。

今までは蛍光灯



より明るい！



LED防犯灯

照明範囲も
広がる！

より防犯上の安心が高まります！

24

予防対策①

新規

重点課題① 駅前の体感治安が悪い

実施中

方向性① 違法客引き行為防止

予防対策① パトロールの新規実施と対策会議

地域住民、警察、市等の協働で
週1回パトロールを実施



郡山駅前アーケードをパトロール(2017.9.1)

25

予防対策①の活動実績

table3

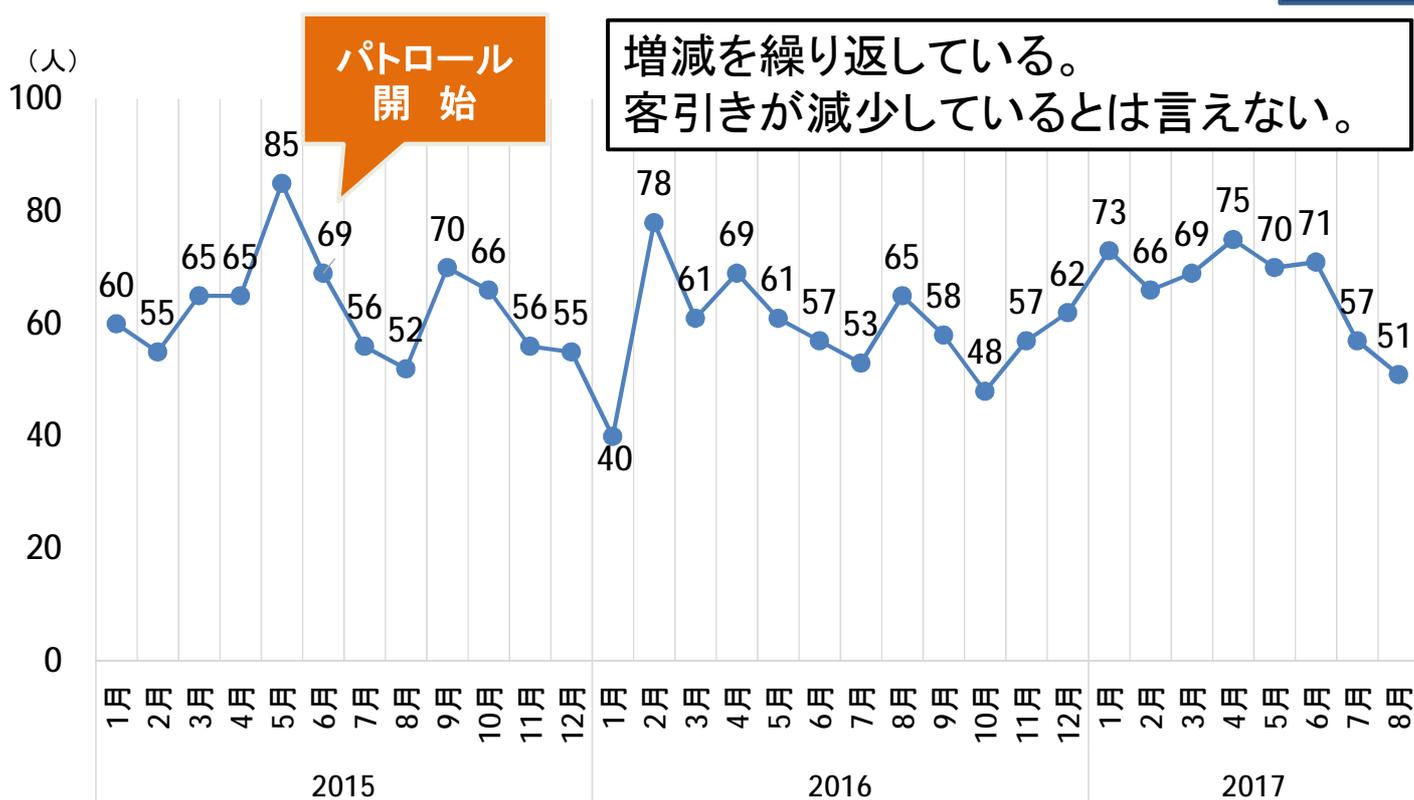
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・郡山駅前で、違法客引きを対象としたパトロールの実施と違法客引きを利用しないよう啓発 ・対策会議の開催
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・パトロール 2016年度 43回 延べ417名が参加 2017年度 10回 延べ166名が参加(7月末時点) ・対策会議 2016年度 4回 対策の協議、効果の評価 2017年度 2回 ・平成29年8月に違法客引きゼロ対策協議会の設立が決定
実施者	対策委員会、町内会、商店街、防犯団体、飲食店組合、ビルのオーナー、消防団、JR東日本郡山駅、消防署、警察署、市
対象	駅前繁華街、風俗店、利用者

26

活動の評価・分析について①

駅前の違法客引き行為者数の推移

fig21



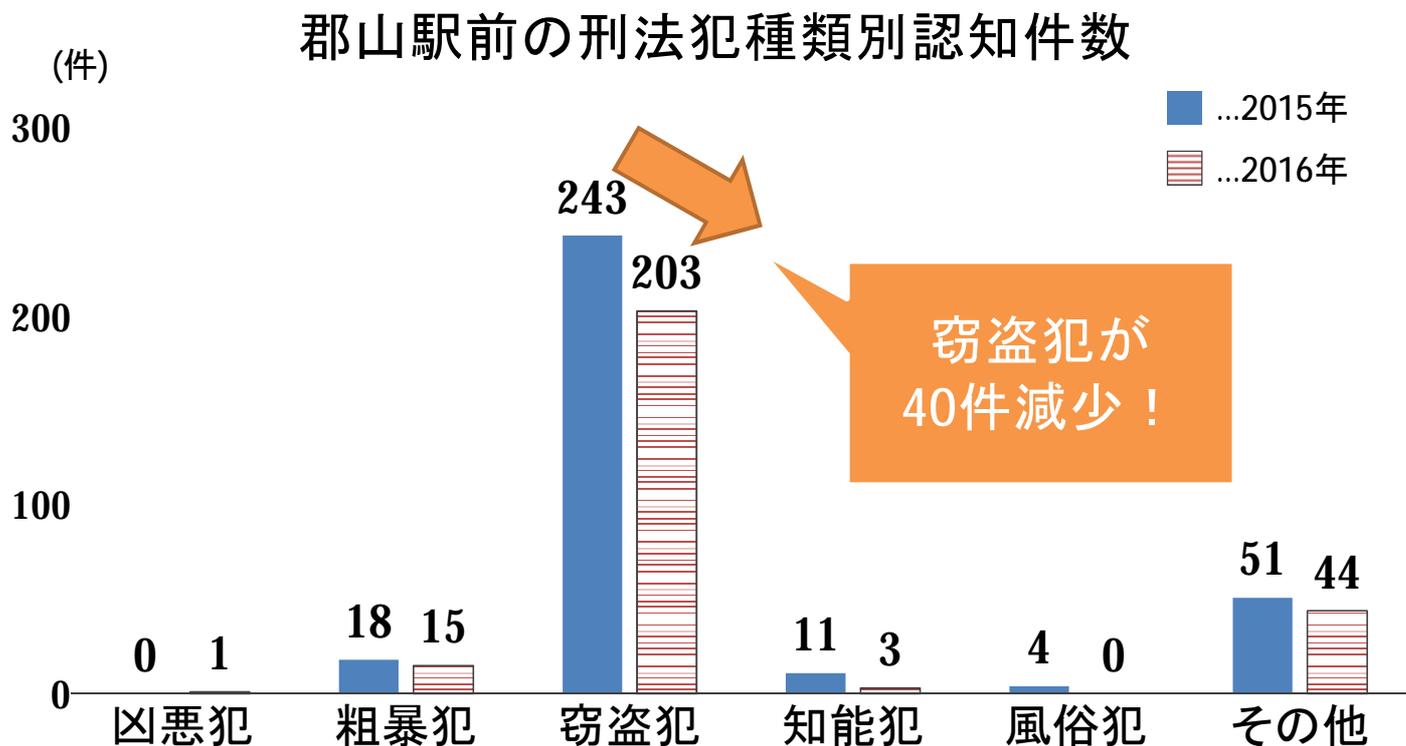
出典:郡山市客引き等実態調査(毎月最終金曜日夜の状況)

27

活動の評価・分析について②

郡山駅前の窃盗犯が40件減少

fig22



28

予防対策②、③

重点課題② 住宅街の犯罪が多い

方向性②③ 環境の改善、防犯力の向上

対策②③ 防犯カメラや車載カメラの活用
地域の目をアピール

fig23

新規

防犯カメラに対する
市民の意識を調査
78%が必要と回答

行政への働きかけ
防犯カメラ設置の補助制度
公共施設への設置

地域の目をアピール

見えますよ、
見られていますよ
ステッカー(仮称)

新規

企業等との連携
タクシー等の
車載カメラをアピール

新規

29

予防対策②、③の活動実績

table4

<p>内容</p>	<p>防犯カメラ(車載カメラ等)で「見てますよ！」ステッカーを作成し、住民、企業等に貼ってもらうことで、地域で犯罪を抑止する環境づくりを行う。 また、防犯カメラの情報を警察に提供する協定を結び、地域一体となり監視を進めていることをPRする。</p>
<p>実績</p>	<p>市内デザイン大学校にステッカーを作成依頼。学校から仕様の作成依頼を頂いたため、仕様書を作成中。</p>
<p>実施者(予定)</p>	<p>市民、企業、対策委員会、警察、市 等</p>
<p>対象</p>	<p>市民</p>

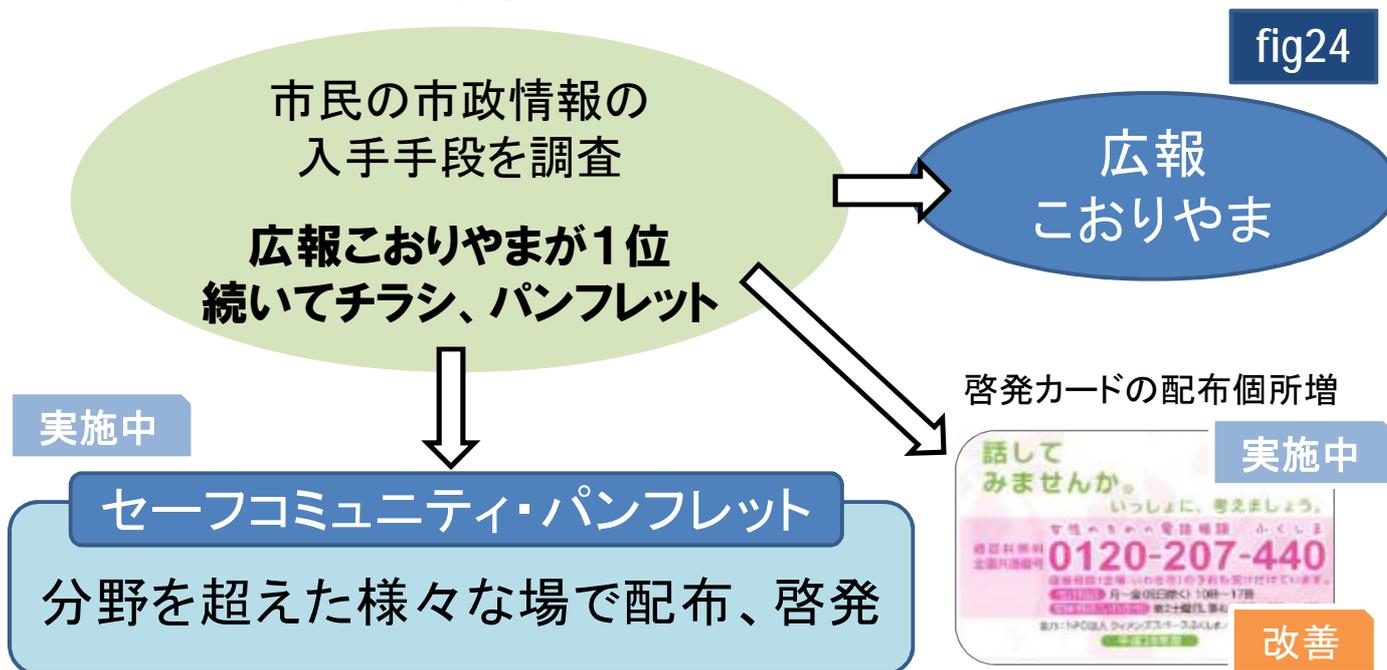
30

予防対策④

重点課題③ DV等の相談窓口が知られていない

方向性④ 相談窓口の周知

対策④ 方法の改善



31

予防対策④の実績

table5

内容	各種金融機関にDV等相談窓口のカード型啓発品を設置した
実績	郡山市内の全郵便局(72局)の筆記台に啓発品を約5,000枚を設置 一部銀行 市内27支店に啓発品750枚を設置
実施者	対策委員会、各種金融機関
対象	相談をしたいが窓口を知らない人
SCを始めてからの変化	今まで行政施設のみだったが、設置先を拡大。今後の取組も御協力頂けるといってお話もいただいた。



32

活動及び成果指標について

table6

重点課題	取組	活動指標	成果指標	
			短期・中期	長期
1	客引き防止パトロール	<ul style="list-style-type: none"> パトロール回数 参加者数 2016~2017年度7月末時点 累計 53回 延べ583名	違法客引きを行う者の人数 2015年平均 62人 2016年平均 59人	体感治安向上 (アンケート) 犯罪件数 (警察白書等)
	客引き防止会議	<ul style="list-style-type: none"> 開催数 改善件数 2016~2017年度7月末時点 累計 6回		
2	防犯カメラや車載カメラの活用	<ul style="list-style-type: none"> チラシ配布数 配布回数 	協力事業者数	犯罪件数 (警察白書等)
	地域の目をアピール	<ul style="list-style-type: none"> ステッカー配布数 		

33

活動及び成果指標について

table7

重点課題	取組	活動指標	成果指標	
			短期・中期	長期
3	DV相談窓口の周知	周知カード配布数 配置箇所数 郵便局 5,000枚 72局 銀行 750枚 27支店	DV相談窓口の認知度	自宅内の加害状況 (救急搬送データ) DV相談件数

34

現在の到達点と今後の方向性1

table8

重点課題	現在の到達点	今後の方向性
課題1 駅前体感治安が悪い	<ul style="list-style-type: none"> パトロール継続中 対策会議開催 	<ul style="list-style-type: none"> パトロール継続 条例改正への意見書作成
課題2 住宅街の犯罪が多い	ステッカーの作成依頼	<ul style="list-style-type: none"> ステッカーの作成と配布 協定締結
課題3 DV等の相談窓口が知られていない	市内全郵便局(72局)、一部銀行(27支店)に啓発品設置	市内全銀行、商業施設への拡大

35

現在の到達点と今後の方向性2

保留にしていた課題

優先順位下げ

④防犯の意識、知識が低い

客観的意見として…

犯罪に巻き込まれることを怖いと感じている人が多いが、
防犯活動への取組が低調

データ不足

⑤子どもたちが情報リテラシーを学ぶ機会が少ない

主観的意見として…

SNS等のネットを介したコミュニケーションツールにより、
いじめや犯罪に巻き込まれる事件が増えている

36

現在の課題

①啓発の工夫

⇒DV等相談窓口の設置先を今後も拡大していく上で、
工夫が必要。他対策委員会と協働して活動していきたい。
※今後はステッカーの配布や協定の周知もある

②保留していた課題のデータ収集

⇒それぞれどんなことが課題なのか、しっかりイメージが
固まっていない。
課題に関するデータを収集し、具体的な課題としていきたい。

37

御清聴ありがとうございました
Thank you for listening